

(一財) 新潟県バスケットボール協会(NBBA)主催

DC及び国体練習会の感染対策について



NBBA
NIIGATA BASKETBALL
ASSOCIATION

<はじめに>

これはNBBA主催のDC及び国体練習会用に、新型コロナウイルス感染症（以下：COVID-19）対策について示したものである。なお、運用については基本的には競技会運営ガイドラインに準ずるものとする。

<運営時における感染対策>

段階的な練習再開において、適切な感染対策を講じ問題が発生していなければ、練習会においても有症状者はいないはずではあるが、市中感染のリスクが常にあるため、自身が無症状病原体保有者となる可能性は否定できない。このため、感染対策においては、システムやマニュアルの個人・チームの遵守が最重要となる。今一度、スタッフやチームメイト、対戦相手、および練習会に関わる全てのスタッフを守るため、各人が意識をもって取り組んでほしい。

設備・物品などの制約があり、全ての対策が講じることが困難である場合にも、最大限にそれらに準ずるような対策を試み、それでも十分な対策が困難である場合には中止も検討する。

① 練習会開催判断と条件

NBBA内に設置したCOVID-19対策チームが、以下の条件をもとに判断する

- 1) COVID-19対策チームとは、NBBA会長、NBBA副会長、NBBA専務理事、NBBA副専務理事、NBBA競技会委員長、NBBAスポーツ医科学委員長、NBBA事務局長で構成されたチームを示す。
- 2) 政府・各都道府県の自治体・県スポーツ協会・各会場の方針として練習会が可能であること。
- 3) 各選手が、身体的に試合可能なコンディションであること。
- 4) 体調不良者が多数の場合は、練習会を中止とする。

*多数とは…COVID-19対策チームが判断する。

※なお、市中蔓延状況や陽性者及び濃厚接触者の状況に応じて、COVID-19対策チームが練習会の継続の判断を行う。

1) 練習会当日まで

各練習会で感染対策責任者を設置し、適切な感染対策を講じた上で、以下を実施する。

・個人：1. 2週間以内の行動記録の保管 ← 紙ベースにて練習会当日に提出

⇒必要時、濃厚接触者認定における判断材料となる得る

2. 毎日の検温と自覚症状の確認

⇒確認内容は、最低でも以下①～⑤の事項を網羅すること

- ① 体温
- ② 倦怠感の有無
- ③ 咳の有無
- ④ 喉の違和感や痛み
- ⑤ 味覚・嗅覚の異常

⇒各練習会の感染対策責任者へ、毎日報告する

N B B A公式ホームページに掲載している、コンディショニングチェック表と練習会用参加承諾書をダウンロードして使用する (<https://niigata-basketball.jp/participant>)

- ・ COVID-19 対策チーム宛ての連絡窓口(メール)を作成し、問い合わせなどに対応する。

メールアドレス： nbba.covid_19@niigata-basketball.jp

報告や連絡、相談など受け付けております。

2) 練習会当日の入場について

- ・ 会場入場時に競技会関係者全員に対して、非接触型体温計により検温を行う。
37.5 度以上の体温を有する競技会関係者は、腋窩（脇下）体温計にて再検温を行い、その結果、再度 37.5 度以上ある場合は入場を認めない。
- ・ 入場可能時間は、それぞれの担当者から連絡すること。

<その他重大インシデントは発生した場合>

- ・ (公財)日本バスケットボール協会が公開している JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン第 3 版などを参考にして、N B B A COVID-19 対策チームで判断し、対応を決定する。

個人情報に関わること

- ・ 競技会参加のために提出する個人情報に関わる書類は、新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる調査にのみに使用する。
- ・ 個人情報に関わる書類は、競技会終了後 3 週間は練習会感染対策責任者が保管し、その後破棄処分を行う。